第 9 3 7 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 7 年 1 月 2 9 日 (水) 1 6 : 0 0 ~

場 所 保健センター 大ホール

益田市教育委員会

第937回 教育委員会定例会

招集年月日 令和7年1月29日（水） 16:00～

招集場所 保健センター 大ホール

議事日程

第1 会議録の承認について

第2 教育長報告

第3 議題

議第1号 益田市教育委員会事務局組織規則及び益田市教育委員会事務局処
務規則の一部を改正する規則の制定について

報第2号 「冬休み！算数・数学パワーアップ教室」の開催状況について

報第3号 公民館長の任用等について

第4 協議

(1) 今後の小中学校のあり方実現に向けた実施計画（後期）（案）について

第5 その他

(1) 情報提供

(2) その他

出席者

教育委員会

教 育 長	領 家 芳 明
教 育 委 員	齋 藤 哲 瑯
教 育 委 員	原 田 笑
教 育 委 員	山 本 ひとみ
教 育 委 員	森 脇 達 也

事務局職員

教 育 部 長	長 嶺 勝 良
教 育 総 務 課 長	齋 藤 勝 義
学 校 教 育 課 参 事	杉 原 貴 宏
協 働 の ひ と づ く り 推 進 課 長	岡 崎 健 次
文 化 振 興 課 長	田 中 一 史
美 都 分 室 長	澄 川 武 寿
匹 見 分 室 長	齋 藤 一 臣
教 育 総 務 課 長 補 佐	植 田 拓 也

領家教育長 定刻となりましたので、ただいまから令和6年度第937回益田市教育委員会定例会を開催いたします。

会議に入らせていただく前に、森脇委員が12月より新たに教育委員に新任されました。前回の臨時会でご挨拶いただきましたけども、本日初めての定例教育委員会となりますので、前回いなかった事務局の者もいますので、改めてご挨拶をいただければと思います。森脇委員、よろしくお願いします。

森脇委員 失礼します。

森脇達也と申します。昨年の12月26日に市長から任命していただきました。

私自身は、中学校の教員で、長く中学校に勤めておりましたが、2回ほど教育委員会で勤めさせていただいたことがありました。最後2年間ほど小学校でも勤務させていただき、約2年前に退職いたしました。退職後は、季節野菜を育てたりして地域の一人として生活をしております。

このたび、こういう立場になりまして皆様と一緒に教育に関わる仕事が再びできますことを大変嬉しく思い、また光栄にも思っております。どうかよろしくお願いいたします。

領家教育長 どうもありがとうございます。森脇委員におかれましては、これから4年間、本市の教育行政にご尽力いただきますよう改めてどうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

領家教育長 前回定例会の会議録につきましては、委員の皆様には先ほど承認いただきましたので、ご報告させていただきます。

第2 教育長報告

領家教育長 続いて、議事日程第2、教育長報告に移らせていただきます。

資料は議事日程の次のページをご覧くださいと思います。

12月23日から本日に至りますまでの私のことですが、4点ほど皆様方にお知らせしようと思います。

1点目は、12月24日16時からありました第54回益田市読書感想文コンクール審査結果及び表彰式についてでございます。

今回新たに教育委員になられました森脇委員が審査委員会の委

員長を務めておられ、一般の教員の皆さんの参加するボランティア団体に審査を依頼して行うものでございます。益田市立図書館が主催して、市長賞、議長賞、教育長賞、その他様々な入賞作品を選んでいただいで表彰するもので、市長、議長も直接受賞された皆様方に表彰状をお渡ししております。

今回も夏休みの課題を基に、それぞれの学校で提出された作品について審査を行いました。働き方改革やいろんな見直しで夏休みの課題も少し方向を変えて、かつては全員必ず読書感想文を提出していたのですが、最近課題の選択肢の中に読書感想文を入れているような状況で、出品件数がかなり少なくなってきて、いろいろ考える時期に来ているということも伺いましたが、受賞された作品は、子どもたちの思い、それが本と関わっているいろんなことを醸成されているというようなことがうかがえる作品がたくさんありました。特に市長賞を受賞された作品は、戦争のこの本を踏まえてということが詳しく書かれていて、審査委員長さんからは、その作品に焦点を当ててどんなことを感じられたとか、それから受賞して今日この場に来ている子どもたちにこういうふうな見方をすればいいという指南をいただくような講評をいただいでいて、これからの読書生活につながるのではということを感じました。

2点目は、委員の皆様にもご参加いただきました1月4日益田市二十歳の集いでございます。

あの式典の中でも説明があったと思うのですが、今年度の式典から二十歳の集いの実行委員の皆さんが主催して、市長はじめ我々も来賓の一人として参加してきました。ですから、様々な面でまだまだこれから改良を進めることもあると思いますし、二十歳の集いはライキャリア教育をしていく中で多くの人たちとの対話を重ねた先にあるものとしたと思っていますので、教育委員の皆様もお感じになられたこと、忌憚のないご意見、ご感想等を率直に協働のひとづくり推進課へいただきますと、次回の会にうまく活用できるのではないかなと思いますので、よろしく願います。

それから、1月9日に市民学習センターで社会教育コーディネーターさんの意見交換会というのに参加してきました。社会教育コーディネーターというのは、コミュニティ・スクールに指定した学校に配置しておりまして、そのコーディネーターさんと協働のひとづくり推進課の担当者の皆さんが定期的に集まって情報交換をしたり、課題や悩みを話し合ったりしているそうです。その

場に私もぜひ一度参加させてくださいというお願いをしまして、場をつくっていただき参加して、一人の仲間として意見交換させてもらいました。彼らの思いを聞き、一人一人様々な背景を持ちながら益田市にやってきてくれている若者にどんな支援が必要なのかと言うと、それぞれ背景も違いますし、コミュニティスクールもそれぞれの地域によってそれぞれの良さが出るように、コーディネーターさんの役割あるいは働き方の支援の仕方も十人十色なんだと感じたところです。それを協働のひとづくり推進課の社会教育主事を中心に支援していく形が分かって、私としても学びの多い機会になりました。来年度、名称を変え、人つなぎのようなことも含めて新たに益田市にやってきてくださる方もいらっしゃると思いますので、益田ならではの支援の仕方も考えながら進めていければいいなと思っています。これが3点です。

最後は学校訪問についてです。今回の学校訪問のテーマは、授業改善です。学力育成推進室の方と一緒に行って、授業を見た感想を校長先生や教頭先生、あるいは学校によっては研究主任の皆さんと意見交換をし、大人の気づきと対話の時間をたくさん持っています。そしてその気づきと対話の時間で感じられたことを授業者の皆さんや校内で共有し、深めながら、大人の気づきと対話が充実することが子どもたちの気づきと対話につながるのではないかなというイメージで訪問させていただいています。これについては、2月末、3月上旬になるかもしれませんが、総合教育会議を予定しておりますので、前回の総合教育会議から約1年経過したその後の様子をご報告しながら、また委員の皆さん方にもご意見を伺えればと思っています

この間の私の大まかな公務につきまして以上となります。

委員の皆さんにおかれましては、詳しくお聞きになりたい点とかがありましたら併せてお話ししますが、よろしいでしょうか。

＝全員了承＝

それでは続きまして、12月にいただきました寄附、寄贈について紹介をさせていただきます。

資料は、教育長報告の次のページをご覧ください。

12月の寄附、寄贈ですが、2件ございました。いずれも現金の寄附でございまして、岸田様からは市の奨学金に対して、それから年忘れ益田市民余芸大会実行委員会の皆様からは小・中学校施設整備基金として寄附をいただきましたので、併せてご報告をさせていただきます。

教育委員
領家教育長

第3 議題

議第1号 益田市教育委員会事務局組織規則及び益田市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則の制定について

領家教育長 続きまして、議事日程第3、議題に移らせていただきます。
本日の議題ですが、議事案件が1件、報告案件が2件、協議事項が1件となります。

それでは、議第1号 益田市教育委員会事務局組織規則及び益田市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則の制定について事務局より説明を求めます。

齋藤課長 それでは、議第1号益田市教育委員会事務局組織規則及び益田市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則の制定に関しまして資料を基にご説明させていただきます。

前回のところで少し触れていると思いますが、令和7年4月1日からの機構改革に基づきまして、教育委員会教育総務課の内室としまして、会計処理室を新設します。そして現在の名称は協働のひとりづくり推進課という名前になっておりますけれども、同課をひとりづくり推進課に改める機構改革が行われます。この機構改革に沿いまして、今後の事務を進めていく中で必要な規則につきまして改正を行うものでございます。改めて会計処理室というところでございますが、今後、学校、また公民館の会計処理を行うということで、その内容に関しまして組織規則の中に規定するというような状況となっております。名称の変更も含めて処務規則のも同じでございます。こちらの規則の改正を行い、4月からの新年度に向けて事務処理を行っていくような形で進めてまいりたいと思いますので、こちらの規則の制定に関しまして議決を求めたいものでございます。説明は以上になります

領家教育長 ただいまの件につきまして、ご質問等がありましたらお願いいたしますが、よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

領家教育長 それでは、採決に移らせていただきます。

本件につきまして賛成の方、挙手をお願いいたします。

教育委員 =挙手全員=

領家教育長 ありがとうございます。賛成多数のため、本件は承認されました。では、事務局は必要な手続を進めてください。

報第2号 「冬休み！算数・数学パワーアップ教室」の開催状況について

領家教育長

続きまして、報第2号「冬休み！算数・数学パワーアップ教室」の開催状況について事務局より説明をお願いします。

杉原参事

例年、長期休業中に取り組んでおります算数・数学パワーアップ教室ですが、今回は令和3年度からスタートして記念すべき10回目ということでございました。期日は12月26日から28日までの3日間、市民学習センターを会場に開催をいたしました。

学生が、今回最多の22名の応募がございました。ただ、当日インフルエンザ等もありまして3名が欠席ということでございましたが、それでも19名の学生が参加してくださいました。そのうちの9名がリピーターということで、春休みにも開催するというふうに声をかけると、学生たちが友達を連れてやってきますと言ってくれましたし、既に高専は13名の応募があったという状況になっております。

それから、小・中学生ですが、小学生、中学生合わせて94名の参加になっています。今回、中学生を対象にオンライン数学相談会というのを実施したところなんですけれども、残念ながらそちらのほうに応募はございませんでした。中学生の感想を見ると、やっぱり学生と直接話をしたり、答え方とか解き方を聞くということをすごく楽しみに思っていたり、以前会った学生にもう一回会いたいと言って来てくれる子たちが多かったので、オンライン相談会には参加がございませんでした。参加者の推移を令和4年度の夏から載せておりますが、小学校は順調に参加者が伸びているという状況ですが、若干中学生の伸びが悩んでいるところで、その後のアンケート結果のところでは学校の勧めが少々少ないところがございますので、学校に協力をお願いをして中学生の参加を増やしたいなと思っております。

アンケート結果については、いずれも例年と同じく肯定的評価をいただいております。今回、学生の企画を4個ほど用意しましたけれども、算数・数学をただ単に計算で解くということは結構得意なお子さん多くいますけど、解き方を説明するといったことが非常に苦手なお子さんが多い状況でございます。それは学力調査の結果でも出ておりますが、そういったところを学生さんに話をして、グループで子どもたちが話し合うという内容のものも入れてもらったところでございます。

報告は以上です。

領家教育長

ただいま説明しましたことにつきましてご質問等ありましたら伺いますが、いかがでしょうか

原田委員

アンケート結果だけではなくて、学生さんからどのような意見が出たかも知りたいと以前お伝えしたのですけれども、このように気づいた点、よかった点、気になった点を教えていただいております。この中で集中力が続かないですとか、仲良くなるのはいいが、仲が良くなり過ぎて遊んでしまうという意見があるんですけども、私も実際に見学に行かせていただいて、そういう点が気になったところもあります。この意見というのは次回開催に向けて学生さんにフィードバックされたり、改善して何か新しく取り組まれたりする機会というのはあるのでしょうか。

杉原参事

ご意見ありがとうございます。

せっかく学生にご意見を聞きましたので、それを次の春休み前の打合せのところでフィードバックをして改善を図っていききたいなと思っております。その一つの手段としまして、小学生の個人学習時間の1こまが少し長くなっていたりもするので、そういったところで集中力が切れてしまっているということもあるかと思っております。少し時間を細切りにしたりとか、あとは学生が20名ぐらいのところ、小学生の参加が80名ということで、なかなか学生の目が届かないということもございますので、今順調に伸びているところではございますが、春は学生がある程度対応できる人数に絞って募集してもよいのかなと考えております。以上です。

領家教育長
教育委員

そのほかよろしいでしょうか。
＝全員了承＝

報第3号公民館長の任用等について

領家教育長

続きまして、報第3号 公民館長の任用等について事務局より説明をお願いします。

岡崎課長

こちらにつきましては、二川公民館の館長さんが退職されたという報告になります。1月9日ですが、ここに書いておりませんが、死亡退職ということになりますので、ご報告させていただきます。新たな公民館長さんについては今公募させていただいて、昨日応募がありましたので、新たな対応に向けて手続きを進めているところでございます。

以上でございます。

領家教育長

ありがとうございました。

ただいま説明した件についてご質問等ありましたらお願いいた

教育委員

します。よろしいでしょうか。

=全員了承=

第4 協議

領家教育長

続きまして、協議事項に移ります。

今後の小中学校のあり方実現に向けた実施計画（後期）（案）について事務局より説明を求めます。

植田室長

こちらにつきましては、1月16日の臨時教育委員会の際に報告いたしました益田市立学校整備計画審議会からの将来を担う子どもたちの望ましい教育環境実現に向けた学校配置の考え方に対する答申に基づきまして、今後の小・中学校のあり方実現に向けた実施計画（後期）（案）を策定いたしましたので、説明いたします。

計画の内容につきましては、答申に示された今後の小・中学校のあり方実現に向けた実施計画に対する中間評価、今後の小・中学校のあり方に向けた進め方を基本といたしまして、令和10年度までの期間といたしまして今後の本市のあるべき姿に向けて取り組んでいる事項を示しております。

小学校のあり方に向けた考え方につきましては、引き続き学校を核とした地域づくりを進めていくこととしております。地域の特色を生かした小学生の育ちの仕組みづくりとして、つろうて子育て協議会、コミュニティ・スクールによる地域学校協働活動の一層の推進を図り、また地域と学校の連携を進める仕組みづくりとして、コミュニティ・スクールの導入の推進、またコミュニティ・スクールの導入に伴って学校と地域の橋渡し役をいたしますコーディネーターの継続した配置に視点を置きまして進めていくものとして示しております。

中学校のあり方に向けた考え方につきましては、中学校期は社会性を養うことが必要な時期であると位置づけておりまして、基本指針において1学年複数クラスの確保を目標とし、再編を検討することとしていることから、複数クラスが見込めない中学校4校、横田中学校、中西中学校、匹見中学校、美都中学校を上げ、検証し、その結果、保護者、地域、行政が十分に協議することを条件に美都中学校と益田東中学校の再編を検討することとしております。これによりまして、令和10年度までの4年間で市内中学校7校と示しております。

今後のスケジュールといたしまして、2月12日の総務文教委

員会の調査会に計画案を提出して概要を説明し、2月13日から3月4日のところでパブリックコメントの実施、3月10日の臨時教育委員会で計画の策定、また3月12日の総務文教委員会で計画の策定報告を予定しております。

説明は以上です。

領家教育長

ありがとうございました。

ただいま説明した件についてご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

森脇委員

学校のあり方に向けた考え方が下のほうに書いてありますが、表現の問題ではないかと思うのですが、少し皆さんで協議できたらいいかなと思います。

中学校期のあり方に向けた考え方のところです。

「引き続き中学校のあり方実現に向けた再編の具体像を基に、令和10年度まで4年間で市内中学校を7校とする」という表現がありますが、7校とするという考え方よりは、私は7校とする方向で地元と協議を行うとか、7校とすることを検討しているとか、そういう表現のほうがいいのではないかと思います。7校とするという表現ですと、令和10年度に7校になっていないといけなような印象を受けると私は思ったので、この辺り、7校とすると明らかにしたほうがいいのか、検討していくということを目標に計画としているというか、ちょっとその辺がどうなのかなと思いました。

植田室長

前期計画で校数を表記するような形で記載しておりましたので、このような表記という形で記載したところでございます。しかしながら、統合ありきというような形で受け取られるというご意見かと思っておりますので、その辺りについては内部で調整してまいりたいと思います。

森脇委員

皆様方はどうでしょうか。

領家教育長

委員の皆様方のご意見を聞いてみたいということですが、いかがでしょうか。

原田委員

私も森脇委員さんの意見に賛成です。このままだと本当に7校にするというゴールのように聞こえてしまうので、そういった誤解を招かないためにも検討しているという表現でいいのではないかと思います。

齋藤委員

今おっしゃったようにここで7校という数字を上げることよりも、「美都中学校と益田東中学校の再編を検討する」というふうに数字を上げないほうがいいのではないかと思います。

植田室長

ご意見を踏まえまして調整していきたいと思います。

森脇委員 関連してですが、資料の11ページに詳しく書いてありますので、その部分との整合性が取れるようによろしく願いいたします。

領家教育長 そのほかいかがでしょうか。

原田委員 一般の方にもできるだけ分かりやすい形で、たくさんの方からパブリックコメントをいただけるようにということで注釈をつけていただいたんですけども、もう一つ、つろうて子育て協議会についても聞いただけでは分からない保護者の方などもいらっしゃるかと思うので、できれば注釈をつけていただけたらいいなと思います。

植田室長 つろうて子育て協議会につきましても、伝える方法を検討していこうと思います。

領家教育長 そのほかいかがでしょうか。

森脇委員 資料の最終ページの13ページ、ここはまとめのページになると思うんですが、一番最初の段落で、近年、児童・生徒の中にはというところのその状況が、私が読みますと益田市の今の子どもたちの状況なのか、全国的な状況なのかという部分が少し分かりにくいかなと感じたのと、あまりにも表現がマイナス表現ではないかなと思いました。これが具体的なデータに基づいたものなのかというところで引っかかる部分がありまして、特に上から2行目に自己表現が上手くできない者が増えていますという表現がありますけれども、この表現はあまりふさわしくないような気がします。苦手とかそういう少し軟らかい表現であったりプラスの記述ももう少しあってもいいのかなと思いました。

植田室長 特定できてないというところでのお話と、またできないというところのお話を伺えたかと思っております。審議会の中での話に基づいたところで記載させていただいたところにはなるんですけども、数値として出てくるものではないというところもあったと思いますので、こちらにつきましても再度調整を図ってまいりたいと思います。

齋藤課長 少し補足します。

審議会の委員には市内の小・中学校の校長先生にも入っていただきました。その辺りの校長先生方のご意見もありながら、実際にコロナ禍の影響の中でオープンではなくなったり閉鎖的な動きもあったりというところでの表現として加えたという現状があります。例えば、個別最適なほうが学習が進む一方などというようなコメントを入れつつ、またうまくできない者という表現は確かに少し言い方を変えて、自己表現が苦手な児童・生徒のような

形で修正をする中で調整していきたいと思っております。

領家教育長

ありがとうございました。

そのほかよろしいですか。

山本委員

私も「うまくできない者」というのは少し引っかかるころなので、直していただきたいのと、やはりコロナ禍の状況は全国的な傾向でもありますし、それが益田市でもあることだと思いますので、全国的な傾向と市の状況と2段階で書いてもいいのではないのかと思いました。

齋藤課長

おっしゃるとおりだと思います。全国的にもというところについては色々な傾向を読み取りつつ、その辺りの内容も含めて整理するべき必要があるかなと思いますので、ご意見を参考にさせていただいて、できる限りそういったものが取り込めれば取り込んで、議会やパブリックコメントにかけていけるように調整を進めたいと思います。

齋藤委員

実は、対人関係が苦手とか、自己表現がうまくいかない若者たちの問題は、大分前から言われており、コロナ禍が原因しているような表現ではなく、最近の全国的な傾向を見るとこういう状況にあって、益田の現状ではこうなんだという風に説明したらどうでしょう。原因の多くがコロナの影響にあるような表現でない方がいいと思います。

齋藤課長

ご意見ありがとうございました。

先ほどと同じで、そういった状況も含め、確認をして、その上でこの計画の中に取り込めるものは取り込んでということで調整をさせていただければと思っております。

領家教育長

ありがとうございました。

ただいま説明した件についてご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

領家教育長

それでは、委員からいただきました意見を踏まえて事務局で再度調整を図っていただきながら、議会に報告し、それからパブリックコメントを求めるような段階に進ませていただこうと思いますので、よろしくお願いたします。

教育委員

=全員了承=

領家教育長

それでは、本日予定しておりました議事全てが終了いたしました。これをもちまして第937回益田市教育委員会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

=終了時間 16時40分=